

ミニシンポジウム（主催：日本科学者会議東京支部科学委員会）

研究・教育労働者の責任と権利擁護 ～社会進歩と国民の期待に応えるために～

歴代政府の諸施策のもとで、研究・教育現場では管理統制が強化され、教育・研究者の権利侵害が強められてきています。それは今後いっそう強まることが予想され、それにたじろがず、研究・教育者としての誇りをもって毅然と立ち向かうことが求められています。

このシンポジウムでは、石渡眞理子さん（日本科学者会議全国常任幹事）に、衣川清子さん（埼玉女子短期大学准教授・日本科学者会議会員）の不当解雇問題について、その背景などなる教育行政なども含めて報告していただく予定です。また、長田好弘さん（日本科学者会議東京支部代表幹事）には、「科学技術」行政の歴史的概観をもふまえて、今日の大学等の学術研究の「危機」をまねいた学術研究者の「責任」をも問いつつ、これからの課題にたち向かう役割等に関する話題提供をお願いしております。現状での高等教育および先端科学・技術問題、そこでの研究・教育労働者の役割と責任について議論を深めたいと思います。

日本科学者会議会員、非会員を問わず、多くのみなさまの参加を歓迎いたします。

日 時：2010年3月28日（日曜日）午後2時30分～5時

会 場：浜田山会館（第一集会室） 杉並区浜田山1-36-3

参加費：無料

井の頭線浜田山駅下車徒歩5分

シンポジウム・プログラム

(1) 石渡眞理子（日本科学者会議全国常任幹事）

「衣川さん解雇事件に関わって：

教育労働者への権利侵害の観点から解雇理由の背景を探る」

(2) 長田好弘（日本科学者会議東京支部代表幹事）

「いま、学術研究者の責任を問う

—福沢諭吉『文明論之概略』、司馬遼太郎『坂の上の雲』、

小倉金之助『われ科学者たるを恥ず』をたどりつつ—」



会場地図：浜田山会館（第1集会室）

当日連絡先：090-7219-2474（松永携帯）